

が開始される見込みとなっている。今後についてはピークも迎えることから慎重に考えていく必要があると思っている。

在宅支援だが、24 時間体制のサービスは、事業所の受け入れについて二の足を踏まれている状況だ。しかし、小規模多機能型施設の整備も考えているので、そのような施設を利用する中で、在宅生活を支援していきたい。

産業振興

しんぼ 工業統計調査による製造品出荷額をみると、化学工業と窯業・土石製品が全体の 80%を占めている。工業が非常に偏っているのではないかと思う。

もう少しバランスの良い構造になるよう中小企業振興条例を制定し、UI ターンや地元の起業支援、中小企業の振興を強化

3 月定例会 各党・会派の態度

平成 27 年度一般会計予算では、社会保障・税番号制度関連システム整備事業は、住基ネットに様々なシステムを接続し、国と地方を接続させていくものだが、個人情報保護の点で疑念がある。虫歯予防事業のフッ素洗口は、論争中のものを、教育や保育の場に持ち込むのは良くない。市の所有する二つのスキー場に対する支出の限度額を定め、抜本的対策を講じていくべきではないか。中学生海外派遣事業は、572 万円が予算計上されているが 8 月に 4 泊 5 日で 3 年生約 380 名中 30 名が香港へ派遣されるもの。義務教育段階での取り組みとしてはふさわしいと思えない等で反対。

国民健康保険特別会計予算は、国保税を 2 段階に分けて値上げするうちの 1 回目の値上げを行う予算。消費税増税等、市民に対する様々な負担が増え、実質所得が減り続けている中で大幅値上げには反対。

柵口温泉事業特別会計予算は、3 億 8 千万円をかける大改修に取り組み 8 月にはリニューアルオープンする計画。その際、温泉センターも統合することになっている。本来の意味の公的宿泊施設でもない。

すべきではないか。

答 産業構造については、そのまちな特徴を生かすことが自然の恵みを生かしたまちづくりになると思う。自然資源を生かした工業のまちであるというなら、それを中心にして支援をしていくということも必要だろうと思う。

しんぼ 技術にしても、製品にしても、質の高いものを目指す、質の高いもので勝負する、本物を目指すということは必要なことではないかと思うがどうか。

答 お話の通りだと思っている。生産者みずからもそのような気持ちをもって生産、従事して頂けるような環境づくりも必要ではないかと思っている。

市は旅館経営から手を引くことを、はっきりさせておいた方が良い等で反対。

一般会計補正予算(第 7 号)は、住まいる環境リフォーム補助金やプレミアム商品券等の緊急経済対策・地方創生関係等の補正予算。

教育委員長をなくし首長任命の教育長が教育委員会を代表するように変える関連 6 条例は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正に伴うもので、教育委員長をなくし、議会同意は得るが、教育委員でない首長任命の教育長が会務を総理し、教育委員会を代表するもの。首長が召集する総合教育会議も含め、首長の教育に対する権限が大幅に拡大する。国民を戦争に動員するため教育が利用された反省から、教育委員会制度の独立性がうたわれていたが、国、行政の意のままの教育委員会にしようとする制度改定と言わざるを得ないもので反対。

職員の寒冷地手当支給条例改正は、対象を旧青海町から糸魚川市内に改めるもの。**行政組織条例一部改正**は、都市整備課を廃止し定住促進課を新設する等にもなるもの。

消防団員の資格要件を緩和する条例改正は、市内の事業所に働いている市外居住者も市の消防団員になることができるようにするもの。**医療技術者修学資金貸与条例改正**は、社会福祉士、介護福祉士の資格取得のための修学資金も対象とするための改正。

行革委員長報告と提言…退席

最終日の行政改革特別委員会の委員長報告と提言書については、民営化ありきになる可能性があったため退席しました。吉岡、古川、田中議員も退席。

教育委員の渡邊槇江氏の後任に楠田昌樹氏、監査委員廣川勲氏の後任には齋藤隆嗣氏が全会一致で選ばれました。

2015 年 3 月定例会		平成二七年度一般会計予算	国民健康保険特別会計予算	柵口温泉事業特別会計予算	教育委員長をなくし首長任命の教育長が教育委員会を代表するように変える関連六条例	職員の寒冷地手当支給条例一部改正	医療技術者修学資金貸与条例改正	市長提出 63 議案中	賛成	反対	2013 年市議選後 2 年間の 一般質問の状況 (故伊井澤議員の一般質問は含まれていません)							
											2013 年		2014 年				2015 年	
											6 月定例会	9 月定例会	1 2 月定例会	3 月定例会	6 月定例会	9 月定例会		1 2 月定例会
清生クラブ	松尾徹郎	○	○	○	○	○	○	63	0									
	大滝 豊	○	○	○	○	○	○	63	0		○					○		
	中村 実	○	○	○	○	○	○	63	0			○			○			
	渡辺重雄	○	○	○	○	○	○	63	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	樋口英一	○	○	○	○	○	○	63	0	議	長							
	斉木 勇	○	○	○	○	○	○	63	0									
	倉又 稔	○	○	○	○	○	○	63	0		○	○	○	○	○	○	○	○
	高澤 公	○	○	○	○	×	○	62	1									
	伊藤文博	○	○	○	○	○	○	63	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○
笠原幸江	○	○	○	○	○	○	63	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
奴奈	古畑浩一	○	○	○	○	×	○	62	1	○	○	○	○	○				○
	五十嵐健一郎	○	○	○	○	○	○	63	0	○	○	○	○	○			○	○
市 21	古川 昇	○	○	○	○	○	○	63	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	田中立一	○	○	○	○	○	○	63	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○
糸	田原 実	○	○	×	○	○	62	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
共	新保峰孝	×	×	×	×	○	○	54	9	○	○	○	○	○	○	○	○	
公	保坂 悟	○	○	○	○	○	○	63	0	○	○	○	○	○	○	○	○	
歩	吉岡静夫	×	○	×	○	×	○	59	4	○	○	○	○	○	○	○	○	
ひ	吉川慶一	○	○	○	○	○	○	63	0	○	○	○	○	○	○	○	○	

※奴奈=奴奈川クラブ 市 21=市民ネット 21 糸 21=糸魚川 21 共=日本共産党
公=公明党 歩=市民・糸魚川、一緒に歩こう会 ひ=ひめかわの会

市議会臨時会開かれる

市議会臨時会が5月19日(火)に開かれました。先決処分6件、一般会計補正予算(第2号)1件が提案されました。

先決処分は地方税法の一部改正に伴うもの、谷根広田地すべり対応等の補正予算などで、一般会計補正(第2号)は大和川漁港離岸堤災害にともなうものです。

この内、国民健康保険税の限度額(医療分・介護分・後期高齢者医療分

の合計)81万円を85万円に引き上げる議案では退席しました。軽減措置も拡大され、差し引き国保税の増ということにはならないようですが、国の負担割合を元に戻すか引き上げる、健康づくりに力を入れるなどの抜本的な対策をとらない限り、国保税は上がるばかりで市民も自治体も大変になります。抜本的対策が必要ということで退席。

市議会の後期人事決まる 議長に倉又氏、 副議長に渡辺氏選出

議案審査後、市議会の人事関係の選挙等おこなわれ、後期人事が決まりました。議長には倉又稔氏、副議長には渡辺重雄氏が選出されました。又、地方創生調査対策特別委員会が設置されました。

議長選挙		副議長選挙	
倉又 稔	14 票	渡辺重雄	16 票
吉岡静夫	1	吉岡静夫	1 票
新保峰孝	1	白 票	2 票
白 票	3		

糸魚川市議会の会派構成 (5月から変わっています)

清政クラブ	6名	◎松尾徹郎 渡辺重雄 樋口英一 斉木 勇 伊藤文博 五十嵐健一郎
創生クラブ	6名	◎高澤 公 倉又 稔 笠原幸江 大滝 豊 中村 実 吉川慶一
市民ネット21	2名	◎古川 昇 田中 立一
糸魚川21クラブ	1名	◎田原 実
奴奈川クラブ	1名	◎古畑浩一
日本共産党	1名	◎新保峰孝
公明党	1名	◎保坂 悟
一緒に歩こう会	1名	◎吉岡静夫

◎は長

各議員の所属委員会

5月19日現在

総務文教常任委員会 7名	◎伊藤文博 ○吉川慶一 古川 昇 新保峰孝	松尾徹郎 倉又 稔 保坂 悟
建設産業常任委員会 6名	◎大滝 豊 ○中村 実 田中 立一 古畑浩一	渡辺重雄 五十嵐健一郎
市民厚生常任委員会 6名	◎笠原幸江 ○斉木 勇 田原 実 吉岡静夫	樋口英一 高澤 公
議会運営委員会 7名	◎松尾徹郎 ○古川 昇 大滝 豊 中村 実	伊藤文博 渡辺重雄 笠原幸江
地方創生調査対策特別委員会 10名	◎五十嵐健一郎 ○保坂 悟 中村 実 吉川慶一 大滝 豊 笠原幸江	松尾徹郎 渡辺重雄 古畑浩一 伊藤文博

◎は長 ○は副

6月定例会日程

- 8日(月) 本会議
- 11日(木) 議運委
- 12日(金) 一般質問
- 15日(月) 一般質問
- 19日(金) 民生委
- 22日(月) 総文委
- 23日(火) 建産委
- 26日(金) 本会議

しんぼの3月定例会一般質問(要旨)

市町合併 10年を検証する

～ 糸魚川市はどうなったか、何が課題か ～

人口等

しんぼ 総人口、3地域人口、世帯数の推移、人口動態、婚姻数等の推移、年少人口、生産年齢人口、老年人口の推移をどのように捉えているか。

答 総人口、3地域人口とも合併時と比較して約10%の減少となっている。世帯数は横ばいで、核家族化や高齢者の単身世帯が増えている。人口動態、婚姻数については、ともに減少傾向が続いており、抑制する施策が必要と考えている。

年少人口、生産年齢人口についても減少傾向が続いており、市内の産業や経済活動への影響が懸念されている。老年人口については、しばらく増加するものの、その後は減少するものと見込まれている。

市の決算

しんぼ 2005年度と2013年度(決算)の比較だが、民生費40億円13.7%が、53億円16%に伸びている。全国都市財政年報によると、2013年度決算で全国790都市中、789番目とのことだ。最下位から2番目ということだが、どのようにお考えか。

答 組織機構の見直しがあり、子ども医療費、児童手当関係については一部見直しをしている。

その統計を承知していないので、どういう形でその民生費が積み上がっているか確認できないが、下位に属するという指摘である。特に民生費の割合が低いという認識はしていなかった。

しんぼ 普通建設事業費は、62億円21.2%が、88億円26.5%となっている、全国790都市中、12番目とのことだ。どのようにお考えか。

答 平成18年、19年と40億円近くまで下がっている。23年度は42億円という数字である。新幹線開業とか、学校耐震化とか、平成25年度、平成26年度が極めて多いのは、その時の特殊事情であるということを理解願いたい。

子育て支援

しんぼ 若者を呼び込むためには子育て支援策は大事な柱になる。思い切って保育料第2子以降無料化等の子育て支援策拡充をはかる必要があると思うがどうか。

答 第3子無料、第2子半額ということで、現在、進めている。第2子以降も無料ということについては、今後、研究、調査していきたい。

介護施策の充実

しんぼ 高齢者人口のピークは、第6期介護保険計画の最終年度2017年度、あと3年後だ。2020年、6年後には介護認定者数のピークがくると推計されているが、特別養護老人ホーム、24時間在宅介護について、今後の取り組みはどうなっているか。

答 施設整備については、第6期計画での特養整備はショートステイから8床を予定している。平成27年12月くらいには、おおさわの里の特別養護老人ホーム増床

しんぼ峰孝の 市議会報告

2015年
6月7日

編集 日本共産党糸魚川市議会議員
・ 新保峰孝 一の宮5-2-33
発行 電話 fax 共 025-552-7155